

施策評価シート

施策等名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	体系番号	0705010102
		主管課	地域戦略課

1 施策基本情報

現状と課題	国が進める「地域IoT実装推進ロードマップ」における各分野のIoTの実装状況について、全国的に低い実施にとどまっていますが、茅野市でもほとんど行われていない状況であり、今後ICT、IoTを活用した人材育成と雇用創出につながるサービスへの実証実験を踏まえた事業の検討が必要です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	公立諏訪東京理科大学等との連携により、ICT、IoTを活用した産業、人材育成と雇用創出につながる取組を検討し、地域の活性化へつなげます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
①	コワーキングスペース利用料収入	コワーキングスペース年間利用料収入(千円)	-		進行管理を行う中で 進行管理を行う中で
②	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数	スワリカブランド当年度開発件数(件)	-		進行管理を行う中で 進行管理を行う中で
③					

施策の柱1	名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出		主管課	地域戦略課・商工課		
	詳細	公立諏訪東京理科大学等との連携により、ICT、IoTを活用した産業、人材育成と雇用創出につながる取組を検討し、地域の活性化へつなげます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	コワーキングスペース利用料収入	コワーキングスペース年間利用料収入(千円)	-	1 行管理を行う中で 2 行管理を行う中で	1 コワーキングスペースにおけるICT化推進事業 2 LPWA技術を活用した実証実験と事業化検討	実施 実施
	2	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数	スワリカブランド当年度開発件数(件)	-	3 行管理を行う中で 4 行管理を行う中で		
	3				5 6		

基本政策間連携

施策の体系	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1 2	
	2				3 4	
	3				5 6	

基本政策間連携

施策の柱3	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1 2	
	2				3 4	
	3				5 6	

基本政策間連携

施策等名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	体系番号	0705010102
		主管課	地域戦略課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	1	コワーキングスペース利用料収入 進行管理を行う	-	7475.00	10411.00		
			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	開設当初から創業者が入居したり、創業者であっても新規事業を模索したりといった動きが出ており、まずまずの稼働状況である。					
	2019年度	幅広い業種で創業者数の増加が見られる。起業・創業に関するセミナー等の開催数、参加者も多く、各種取組の成果がよい方向で見えてきている。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	2	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数 進行管理を行う	-	3.00	9.00		
			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	地方創生推進交付金を活用して実施する『産学公連携「スワリカブランド」創造事業』のKPIを設定。同事業を通じた新技術・新製品等開発件数の2018年度実績値。目標値2件に対して3件開発することができた。					
	2019年度	地方創生推進交付金を活用して実施する『産学公連携「スワリカブランド」創造事業』のKPIを設定。同事業を通じた新技術・新製品等開発件数の2019年度実績値。9件開発することができた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱	1	コワーキングスペース利用料収入 進行管理を行う	-	7475.00	10411.00		
			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	開設当初から創業者が入居したり、創業者であっても新規事業を模索したりといった動きが出ており、まずまずの稼働状況である。					
	2019年度	幅広い業種で創業者数の増加が見られる。起業・創業に関するセミナー等の開催数、参加者も多く、各種取組の成果がよい方向で見えてきている。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱	2	諏訪東京理科大学とのICT活用による連携事業の実施数 進行管理を行う	-	3.00	9.00		
			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	地方創生推進交付金を活用して実施する『産学公連携「スワリカブランド」創造事業』のKPIを設定。同事業を通じた新技術・新製品等開発件数の2018年度実績値。目標値2件に対して3件開発することができた。					
	2019年度	地方創生推進交付金を活用して実施する『産学公連携「スワリカブランド」創造事業』のKPIを設定。同事業を通じた新技術・新製品等開発件数の2019年度実績値。9件開発することができた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	体系番号	0705010102
		主管課	地域戦略課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	41,620,600	98,388,636 2.36	84,389,000 0.86		
	うち一財(円)	21,271,754	49,268,765 2.32	52,889,000 1.07		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)		スワリカブランド創造事業に係る事業費を追加したため			
進捗評価		おおむね順調	おおむね順調			
総合評価	主な取組内容や成果	①コワーキングスペース貸出は満室状態を維持し、月極デスクシェアを設けたことにより、様々な職種の人が集まり出し、活気を生み出している。 ②理科大との連携によるスワリカブランド創造事業を通じて、IoT通信技術を活用した地域課題の解決に向けた研究開発を実施。	①コワーキングスペースの貸出は満室状態を維持しており、デスクシェアや会議するについても稼働は順調に増加している。 ②理科大との連携による地域の課題解決に向けた研修開発を実施。多くの企業の参画により研究開発体制の構築が充実した。			
	課題	①地元の製造業との連携や、理科大生の利用を促進するなど、より地域に根差した施設にする必要がある。 ②実用化を見据えた研究開発をスピード感を持って推進する必要がある。	①コワーキングスペースにおける包括的協定により学生の利用も増加しているが、地元企業と学生が関われる施設にすることが求められる。 ②実用化を見据えた研究開発をスピード感を持って推進することと事業の自立化の検討。			
改革・改善	改革・改善内容	①時代の潮流に合った、魅力あるイベント等の開催を継続し、訴求力を持った施設としていく必要がある。 ②研究開発のみならず、それをユーザーに届けるための新サービスを一体的に創出し、実用化に向けた動きを具体化する。	①全国的にテレワークやワーケーション等を推進する動きがあることから、地域でこの動きを推進する体制を構築する。 ②民間事業者と一体で進める体制を自立化させていき、生み出される成果の発信や人材育成等につなげる。			
	重点化する施策の柱	1	1			
	重点事務事業	2	2			
理由	新たな産業を生み出すことにつながる取り組みであり、基本目標に最も合致することから、IoT通信技術を活用した実証実験と事業化検討(スワリカブランド)を重点事業とする。	新たな産業を生み出すことにつながる取り組みであり、基本目標に最も合致することから、IoT通信技術を活用した実証実験と事業化検討(スワリカブランド)を重点事業とする。				

作成担当者	両角香代	小平昌紀		
最終評価責任者	加賀美積	加賀美積		
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月9日		